

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の特徴（和歌山県）

1 教科に関する調査結果

(1) 和歌山県（公立）と全国（公立）の平均正答率

単位：%

	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
県	68	63	67	50	44
全国	67	63	70	51	46

※平成28年度からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

(2) 和歌山県（公立）平均正答率と全国（公立）平均正答率との差の推移

単位：pt(ポイント)

	小学校国語		小学校算数		中学校国語		中学校数学		中学校英語
	A	B	A	B	A	B	A	B	
H28	-3	-2	-1	-1	-2	-4	0	-1	
H29	0	-1	0	0	0	-2	0	0	
H30	1	0	-1	-1	-1	-2	1	-2	
H31(R1)	0		-1		-3		-1		-1
R3	0		0		-4		-2		
R4	-1		0		-3		-1		
R5	1		0		-3		-1		-2

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施見送り。

※平成31年度からは、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のAB区分がなくなっている。

(3) 調査結果の特徴

小学校は、国語が全国平均を上回り、算数が全国平均と同程度の結果となった。
中学校は、数学が全国平均と同程度の結果となったが、国語と英語は全国平均を下回った。

○成果

- ・小学校国語では、「話すこと・聞くこと」領域の平均正答率が全国を上回った。
- ・小学校算数、中学校数学では、「データの活用」領域において昨年より改善がみられ、平均正答率が全国を上回った。

●課題

- ・中学校国語では、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えたり、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書いたりすることに課題がある。
- ・中学校英語では、「聞くこと」及び「読むこと」領域に課題がある。

2 質問紙調査結果

○成果

- ・小学校国語、算数、中学校数学、英語では、「授業の内容はよく分かる」と回答した子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 小国語+1.8pt、小算数+3.2pt、中数学+3.8pt、中英語+2.4pt】→概要 P6(1)②
- ・「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」と回答した子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 小学校+2.1pt、中学校+1.7pt】→概要 P8(2)③
- ・「自分には、よいところがあると思う」と回答した子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 小学校+1.2pt、中学校+0.2pt】→概要 P9(4)②

●課題

- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した子供の割合が、全国を下回った。
【全国差 小学校-0.8pt、中学校-0.6pt】→概要 P7(2)②
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した子供の割合が、全国を下回った。
【全国差 小学校-0.5pt、中学校-3.6pt】→概要 P8(3)①